

○公募型プロポーザル 評価基準(別紙)

1. 評価の基本的な考え方

本業務の審査は、提出された企画提案書、遊具の配置図・イメージ図、維持管理計画、工程表、見積書及びプレゼンテーション等を基に行う。

要望水準書に示された「遊具・公園空間の魅力、独創性・地域性」「安全性・ゾーニング・見守り」「インクルーシブな遊びへの配慮」「日よけ・暑さ対策」「LCC・経済性・施工計画・工程・実施体制」「舗装・照り返し対策」「耐久性・維持管理性」を重点的に評価し、遊具単体だけでなく、遊具エリア全体の安全性、快適性、見守りやすさ及び将来の維持管理を含めて総合的に評価する。

2. 評価項目及び配点

No.	評価項目	配点
1	遊具・公園空間の魅力、独創性・地域性	30
2	安全性・ゾーニング・見守り	20
3	インクルーシブな遊びへの配慮	20
4	日よけ・暑さ対策	10
5	LCC・経済性・施工計画・工程・実施体制	10
6	舗装・照り返し対策・周辺環境	5
7	耐久性・維持管理性	5
合計		100

3. 評価方法

各評価項目について、次の5段階により評価する。

評価	評価内容	評価係数
A	特に優れている	1.0
B	優れている	0.8
C	標準的である	0.6
D	やや劣る	0.4
E	不十分である	0.2

※評価点＝各項目の配点×評価係数。例：20点×0.80＝16点。

(1) 遊具・公園空間の魅力、独創性・地域性 30点

【評価の視点】

- ・多様な遊び・挑戦を誘発し、子どもが繰り返し利用したくなる魅力があるか
- ・大型複合遊具、幅広滑り台、高学年向けアスレチック等の組合せが適切か
- ・地域特性を活かした独自性・シンボル性があるか

(2) 安全性・ゾーニング・見守り 20点

【評価の視点】

- ・国の指針・遊具安全基準等を踏まえているか
- ・0～3歳児と児童等を適切に区画し、衝突を防止できるか
- ・転落・衝突・挟み込み等への対策、安全領域及び動線が適切か
- ・保護者が見守りやすく、死角や滞留しにくい配置となっているか

(3) インクルーシブな遊びへの配慮 20点

【評価の視点】

- ・障がいの有無にかかわらず自然に一緒に遊べる構成か
- ・歩行困難・感覚過敏等、多様な身体的特性・発達段階に配慮しているか
- ・一般遊具と一体的に利用できる工夫があるか
- ・家族・介助者が利用しやすいか

(4) 日よけ・暑さ対策 10点

【評価の視点】

- ・遊具利用者及び保護者等に十分な日陰を確保しているか
- ・遊具本体にもシェード、遮光、樹脂製パーツ、高遮熱塗装等を組み合わせているか
- ・日よけの位置・規模・高さが適切で、遊具利用・見守りを妨げないか
- ・沖縄の強い日射、高温多湿、台風・強風・塩害を踏まえ、暑熱対策の効果を根拠をもって示しているか

(5) LCC・経済性・施工計画・工程・実施体制 10点

【評価の視点】

- ・20年間の修繕・部品交換費用が適切に算定されているか
- ・算定根拠・交換時期が明確か
- ・初期費用だけでなく長期維持管理費を考慮しているか
- ・提案内容・見積金額・維持管理計画に整合性があるか

- ・設計・施工を一体的に実施できる体制があるか
- ・施工方法・工程・技術者配置が具体的で完成期限までの実現性が高いか
- ・公園利用者への安全対策、工事中の動線・立入防止が適切か
- ・天候・資材調達・現場条件等を考慮しているか
- ・提案書・工程表・見積書・プレゼンテーションに整合性があるか

(6) 舗装・照り返し対策・周辺環境 5 点

【評価の視点】

- ・照り返しを軽減する舗装計画か
- ・景観性と遮熱性を両立したカラー舗装等の工夫があるか
- ・落下予測エリア等にクッション性マット等を適切に施工しているか

(7) 耐久性・維持管理性 5 点

【評価の視点】

- ・台風・強風・塩害等を考慮した材料・仕様か
- ・清掃・草刈り・点検等が容易か
- ・修繕・部品交換及び部品調達が容易・迅速か
- ・将来の更新・部分交換を考慮しているか

